

## 岬町庁舎整備検討委員会（第1回）摘録

日 時 令和元年6月30日（日） 10:30～12:15

場 所 岬町役場3階 第二委員会室

出席者 （出席委員）15名（以下のとおり）

大西委員、奥野委員、川島委員、川端修委員、川端美恵委員、木多委員、茂野委員

竹内委員、寺田委員、藤江委員、藤田委員、古橋委員、前川委員、山口委員、

和気委員（五十音順）

（欠席委員）なし

※事務局 7名 支援業務委託者4名

### 概 要

#### 1. 開会

…開会にあたって町長から挨拶が行われた。

#### 2. 委員の委嘱及び紹介

…委員に対する委嘱が行われるとともに、委員及び事務局の紹介が行われた。

#### 3. 岬町庁舎整備検討委員会について

…岬町庁舎整備検討委員会の役割について、事務局から資料2により説明が行われた。

#### 3. 委員長、委員長職務代理者の選出

…委員の互選で委員長に木多委員、委員長指名で委員長職務代理者に藤田委員が選出された。

#### 4. 諮問

…木多委員長に対し、町長から諮問が行われた。

#### 5. 議事

##### 1) 申し合わせ事項（案）について

…事務局から資料4により説明を行い、申し合わせ事項（案）が承認された。

(主な意見・質問)

○会議録はどの程度公開するのか。個人名が特定できるような形で公開するのか。

→自由な意見交換ができるよう発言者が特定されない要点公開とする。

## 2) 岬町庁舎の現状と課題について

…事務局から資料5により説明を行い、意見を伺った。

(主な意見・質問)

○設備の老朽化は、庁舎整備とは関係がないということによいか。

→設備更新には多額の費用が必要となる。庁舎整備を検討するポイントの1つと考えている。

○庁舎を今後どのような使い方をするのも論点となる。住民が集まれる場所とするのか、行政主体の建物とするのか等のイメージは。

→アンケートを通じて住民の意向を把握し、整理したい。

○他の公共施設も建築年数は古い。庁舎に他の機能を集約することも考えていくのか。

→他の機能を付加した庁舎を整備することは財政的に厳しいが、意見を伺いたい。

○建替え試算の30億円の内訳はどのようなものか。

→現庁舎の除却、新庁舎の建設、備品などを含めたトータルの試算である。

○高齢化がより進行する。エレベーターがなく不便なのでバリアフリーは重要と思う。多機能トイレも男子側に1つしかない。

→バリアフリーは庁舎整備を検討する重要な点と認識している。

○長寿命化や大規模改修のイメージはあるのか。大規模改修の場合、業務の継続性をどのようにとらえているか。

→次回の委員会で、建替えと改修の場合の比較を提示するのでご検討いただきたい。

○除却はどのくらいかかるか。学校は耐震改修済みとなっているが、児童生徒数が減っている中で、これを有効活用する考えはないか。

→他団体の事例を参考に除却単価を5万円/㎡と想定し、総額約2.4億円と試算している。

議会の一般質問やタウンミーティングでも学校の活用についての意見が出ている。学校が地域からなくなると地域が一気に衰退する。町としては、学校は各地区に残したいと考えているが、ご意見が出れば検討したい。

○建設場所はどことイメージしているのか。規模がわからないとイメージできない。

→先入観なく委員のご意見を頂きたい。庁舎には1万㎡程度の敷地が必要であり、土地を新たに取得する場合は財源の確保も必要である。現庁舎の建設時も場所についてかなり議論され、町有地であったこの地となった経過がある。

○町有地で1万㎡の土地はどこにあるか。

→現庁舎以外は、まとまった土地としては、緑ヶ丘団地の跡地がある。

○いろいろな整備パターンがあると思う。それぞれのパターンでスキームや事業費等の比較ができる資料を用意してほしい。立地適正化計画の策定し、都市機能誘導区域に施設を移転する場合には補助金が出る制度もあり、この検討も進めていただきたい。

小さな会合は役場でできるようになるなども検討してはどうか。

→次回に資料を整理したい。

○20年、30年先のまちの将来像をどのように想定しているのか。

→現在総合計画の見直しを進めている。想定される要因を盛り込んで庁舎を含めて将来像を描く必要があると認識している。

○都市計画マスタープランの策定状況は。

→都市計画マスタープランは2020年为目标年度。総合計画と連動して見直しを始めている。

○庁舎整備検討で整理される将来像なども反映できるとよい。

→検討のポイントとして認識する。

○津波シミュレーションには2つのレベルがある。想定外も考えて候補地の検討をしたい。  
→津波に想定については、東日本大震災の大津波を受けてハザードマップの見直しが行われている。なお、現在の庁舎は浸水区域に含まれていない。

○過去の津波の記録は残っているか。あれば場所選定の根拠になる。

○過去最大の津波被害は18世紀の宝永年間の地震とされており、この記録があると参考になる。ボーリングデータがあれば参考になる。

→過去の資料等があるか確認する。

○現庁舎は建築的に貴重な良い建物。改修して残してほしいと思っていたが、バリアフリー対応や耐震基準を満たしていないことなど、本日の説明を聞くと残すことはなかなか厳しいのかなと思う。

○海が近いので錆が気になる。建物は大丈夫か。

→塩分は鉄にとっては害をなす。最近には錆に強い鋼材も出てきたが、何らかの対策が必要である。

### 3) 住民意見の聴取（案）について

…事務局より資料6-1～6-4の説明を行い、意見を伺った。

(主な意見・質問)

○アンケート対象者の年代ごとの抽出をバランス良くすることは可能か。

→無作為抽出であるが、地区や年代が偏らないようできれば配慮する。

○問7は複数選択できるのに、問8は1つしか選択できないのか。

○問7、8について、優先度を聞いてはどうか。

→選択内容を再考する。

○回収率の見込みは。また、問10と問12は同じではないか。

→30～40%程度を想定している。問10の項目の中でより重要なものを絞り込むため問12を設定した。

○アンケートの修正は7月実施に間に合うのか。

→委員長と相談して修正内容を決定し、委員には後日報告したい。

○町民には30億円の負担を実感できない。それにより町民負担がどのようになるのかを伝える必要があるのではないか。

○問11は規模がわからないと回答できない。1万㎡の町有地がどこにあるかを示す必要がある。情報がないと回答できない。

○問11「具体的な」は削除してはどうか。

○資料5の浸水ハザードマップなどもアンケートに同封してはどうか。

→内容については事務局で検討する。

○まちづくり活動に熱心な方やNPO等にもアンケートを配布していただきたい。

#### 4) 今後のスケジュールについて

…事務局より資料7の説明を行い、確認いただいた。

(主な意見・質問)

○11月下旬に答申とあるが、検討する時間があまりない。資料はいつもらえるか。

→資料については事前送付させていただく。第2回で庁舎の機能を決定したい。手法と場所については、資料を第2回で説明し、第3回でご議論いただくことを想定している。

## 6. 閉会